

令和4年度
五島高校：図書委員会
11月1日作成
11月25日発行

Libraries are Fun

～11月特別号～

図書委員制作担当

2-5
2-5
2-6
2-6

0 総記・クイズ集

『雑学子どもにウケるたのしい日本』

坪内忠太 新講社

この本は、0総記の「031.7」に収められ、日本語のクイズ集・なぞなぞ集になります。たまには息抜きに勉強以外の知識も必要です。来月は2年生の修学旅行ですね。旅先のアイテムにいかがですか？

『いのちのバトン』

志村季世恵 岩崎書店

この本の中に「許すことってこんなにも楽になれるものか」と書かれています。「いのちのバトン」を読んだ人なら何かを感じると思います。涙なしでは読めず感動する本です。そのような中に出てくるノンフィクションが少し面白いのが不思議です。みなさんに何かを感じて欲しい本となっているので、ぜひ読んでみてください。

2 社会学・歴史

『世界はいっしょにまわってる』

ヨコ軸でつなく日本史と世界史

池上彰 小学館

この本は日本史と世界史が同時に書かれているため比較ができ、「世界ではこんなことが起きていたのか！」と気づかされます。歴史が苦手な方でも愉快的イラストを用いているので、分かりやすくなっています。「★こんなことも」の豆知識があり、おまけみたくて飽きがこない本です。覚えるぞー！というより、軽い気持ちで読んでください。

1-2五島高校

1 哲学・カウンセリングと人生訓

『ころへの贈り物』

のびのびとあなたらしく

海原純子 PHP 研究所

この本は心がほっとする写真やメッセージが記載されています。疲れた時や失敗して、がっかりしたとき、少し無理したと思ったときに読むと心が落ち着きます。また、気持ちの整理がついてスッとするようなヒントがたくさん書かれています。写真好きの人にもおすすめです。ぜひ手に取ってみてください。元気になると思います。

3 社会科学・人間関係

『一緒にいると楽しい人、疲れる人』

有川真由美 PHP 研究所

この本は、一緒にいて楽しい人はどういう人なのか、行動や話し方などが記載されています。また、そうでない人との接し方についても書かれています。人間関係を良好にしていったり、自分を変えるきっかけになったり、感情の整理ができる本です。ぜひ読んでみてください！

4 自然科学・看護学

『ズルいくらいに 乗り切る看護技術』

中山有香里 MC メディカル出版

この本は看護技術が記載されています。イラスト付きで看護のポイントや注意すべき点、覚えにくい重要な語句などが説明されているため、分かりやすく楽しみながら読むことができます。医療を目指す人にはおすすめの本なので、ぜひ読んでみてください！

イラスト・イラスト部
1-2

毎日、頑張っている3年生のみなさん

五高図書館では数量限定ですが、合格祈願鉛筆をプレゼントしています。昼休みに図書館へチョコッと来てみてください。

5 技術・電気工学と住宅建築

『ネットとSNSを安全に使いこなす方法』

ルース・ストウェル 東京書籍

この本はネットでのトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするポイントが記載されています。人間関係での悩み、金銭問題などにアプローチした内容となっています。ネットの使用方法に不安がある人には役立つ本になっているため、ぜひ読んでみてください！

『住宅する思想』

林望 東洋経済新聞社

家作りは一生の中でもかなりの大仕事ですが、それを根本から考え直す一冊。ベランダはいらない、日本人は南向の家を建てたがるが北向が良い、建築物の素材選びなど、家を新築・リフォームする場合は、参考にしたい本です。本を通して、家だけでなく何事も根底から考えることが必要！と思いました。

6 産業・作物歴史

『文明を変えた植物たち』

酒井伸雄 NHK ブックス

1492年にコロンブスが太平洋航路を発見したことをきっかけに、さまざまな植物がヨーロッパ大陸に伝承した。特にジャガイモ、トウモロコシ、カカオ、トウガラシ、ゴム、タバコの6種の存在は私たちの生活を、豊かで潤いのあるものに激変させました。歴史をひも解いていくと面白いと思いました。

2-2五島高校

7 芸術・映画史

『私が私らしくあるために』

ソワソワ・ドキドキを育てる34の方法

忍足亜希子 大和出版

私は障害を持っている人たちは、その運命にずっと落ち込んでいると思っていました。しかし、この本の忍足さんは「私のアンテナはいつもプラスの方向です。」「生まれ変わっても、ろうとして生まれたい。」と語っています。

前向きな忍足さんに、かわいそうではなく、みんなが安心して暮らせる社会にしたいと私の考え方が変わりました。

私たちの学校のエレベーターは国の合理的配慮で設置されています。

8 言語・漢字

『日本人と漢字』

笹原宏之 集英社

新しい物事は、整然とした中から生まれるとは限らず、体系の中で要素が乱立する混沌とした状況の中からも創造されてくると筆者は述べています。

これから漢字を創造した中国などの状況を考えていきたいと思いました。また、日本人が初めてつくった漢字に出合えたら嬉しいです。

9 文学・小説物語

『世界から猫が消えたなら』

川村元気 小学館文庫

私は猫が好きという理由でこの本を読みました。もし世界から何かを消す代わりに、1日の命が得られるという不思議な取引をされたら、私は生きるために消すことを決めるだろう。そう思いながら、読み進めていきました。自分の命と引き換えに次々と世界からモノが消えていく。

大切なものは失って初めて気づくことを考えさせられました。

イラスト・イラスト部

1-4